

航空宇宙工 学科・専攻

No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		推薦理由(200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備考
								書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年		
1	Introduction to Space Dynamics	William T. Thomson	Dover	1986	准教授	中根 昌克	工業力学を宇宙工学に適用した書。宇宙工学の入門としても良いが、洋書で学ぶ1冊目としても至適。また、工業力学でわかりにくかった剛体回転系も、具体的にイメージがつけやすいでしょう。	1					工業力学の教科書がもれなく関連書となる。
								2					
								3					
								4					
								5					
2	Engnieering Systems: Meeting Human Needs in a Complex Technological World	Oliver L. de Weck, Daniel Roos, Christopher L. Magee	The MIT Press	2011	准教授	中根 昌克	現代的なシステム工学の教科書。システム科学・システム工学自体はそれぞれの専門分野で独自に発達しているが、特に「工学」に絞ったうえでその共通部分を抽出・論議している。推薦書の関連する図書の情報として慶応大学の先生方による訳書を提示するが、できれば原著に接してその雰囲気を感じてほしい。	1	エンジニアリングシステムズ	オリヴィエ・L・デ・ヴェック 他	慶応義塾大学出版会	978-4-7664-2110-1	
								2					
								3					
								4					
								5					
3	Space Operations: Exploration, Scientific Utilization, and Technology Development	Chaig A. Cruzen, Johanna M. Gunn, Patrice J. Amadieu	AIAA	2011	准教授	中根 昌克	The 12th Space Operationsという学会の発表から選ばれた発表を書籍化したもの。実際の宇宙ミッションがどのようなことを考え、行っているのかが垣間見える書である。	1					
								2					
								3					
								4					
								5					
4	Manned Spacecraft Design Principle	Pasquale M. Sforza	Elsevier	2016	准教授	中根 昌克	有人宇宙船の設計法を体系的に述べている。工学的な側面ばかりでなく、経済的な部分なども述べており、また1セミスターの授業のハンドブックとして使用できるよう、設計報告書の目次案が載っていたりと、なかなか面白い。この分野は近年まとまった書籍が出版されていなかったが、ようやくといった感じで出てきた。	1	Spaceflight Life Support and Biospherics	Peter Eckart	Kulwer/Microcosm	1996	
								2	Human Spaceflight: Mission Analysis and Design	Wiley J. Larson, Linda K. Pranke	McGraw Hill	1999	
								3					
								4					
								5					

5	空気力学の歴史	ジョン・D・アンダーソン 著 織田 剛 訳	京都大学出版会	2009	教授	村松 旦典	空気力学(流体力学)の歴史を古代より扱い、航空機の発展と関連付けて扱った本である。グライダーの発明やライト兄弟の動力飛行の実現へ流体力学が果たした役割、その後の流体力学の進展が航空機の発展(複葉機、単葉プロペラ機、ジェット機)にどのように影響したのか、といったことを知り、航空宇宙のエンジニアとして流体力学を学ぶ意義を知って頂きたい。そして、流体力学の魅力を知って頂きたい。	1	A History of Aerodynamics and Its Impact on Flying Machine	John D. Anderson, Jr.	Cambridge Univ. Press	1997	1は原書、3, 4, 5は航空宇宙工学科で使用している教科書です。
								2	飛行機の誕生と空気力学の形成	橋本 毅彦	東京大学出版会	2012	
								3	航空力学の基礎(第3版)	牧野 光雄	産業図書	2012	
								4	基礎流体力学	基礎流体力学編集委員会	産業図書	1989	
								5	JSMEテキストシリーズ 流体力学	日本機械学会	日本機械学会	2005	
6	飛行機の誕生と空気力学の形成	橋本 毅彦	東京大学出版会	2012	教授	村松 旦典	上の本と同様に、空気力学(流体力学)と航空機の発達について書かれた本であるが、近代以降に絞って書かれている。プラントルらが提案した境界層の話と日本における例として扱われている谷一郎先生(本学の元教授でもある)の層流翼の開発の話は是非読んで頂きたい。谷先生の章の執筆のための参考文献として、本学の谷文庫が挙げられている。この本を読むと、粘性流体力学、境界層理論、乱流が現代の流体力学で特に重要視される理由がわかると思う。	1	空気力学の歴史	ジョン・D・アンダーソン 著 織田 剛 訳	京都大学出版会	2009	2, 3, 4は航空宇宙工学科で使用している教科書です。5は谷先生が書かれた教科書で、村松が学部2年前期(流体力学Ⅰ)のときの教科書でもありました。
								2	航空力学の基礎(第3版)	牧野 光雄	産業図書	2012	
								3	基礎流体力学	基礎流体力学編集委員会	産業図書	1989	
								4	JSMEテキストシリーズ 流体力学	日本機械学会	日本機械学会	2005	
								5	流れ学(第3版)	谷 一郎	岩波書店	1967	
7	ショックウェイブ	I.I.Glass(著) 高山和喜(訳)	丸善株式会社	1987	助教	菊池 崇将	本書は、自然界に存在する衝撃波現象、人工的に作り出された衝撃波現象とその工学応用に関して、専門的な数式の記述を用いることなく、物理的な性質を言葉で記述している。また、多くの実験写真と模式図が示され、読者の理解を助けている。流体力学の中でも、圧縮性流体、特に衝撃波は極めて難解な印象をもたれている。本書により、その心理的障壁は取り除かれ、初心者であっても衝撃波の本質に迫ることが出来る名著である。	1	衝撃波の力学	生井武文, 松尾一泰	コロナ社	1983	ロシア語、ポーランド語、ヒンズー語、中国語にも翻訳されている。
								2	圧縮性流体力学・衝撃波	佐宗 章弘	コロナ社	2017	
								3	衝撃波ハンドブック	高山和喜(編)	シュプリンガー・フェアラーク東京	1995	
								4	ショックウェーブ～非線形現象のなぞ～	高山和喜	オーム社	1998	
								5					
8	わがヒコーク人生	木村秀政	日本経済新聞社	2002	教授	佐々 修一	木村秀政先生の飛行機にまつわる人生が書かれている。日大の人力飛行機の誕生も紹介されており、興味深い。	1					
								2					
								3					
								4					
								5					

9	鳥と飛行機はどこがちがうか ー飛行の科学入門ー	ヘンク・テネケス	草思社	1999	教授	佐々 修一	鳥の飛行について、簡単な数学や力学に基づき分析し、飛行の科学について理解できる本である。	1						
								2						
								3						
								4						
								5						
10	飛行機物語	鈴木真二	中央公論新社	2003	教授	佐々 修一	羽ばたき機からジェット旅客機まで、興味深いエピソードを通して、飛行機の歴史を概観できる。	1						
								2						
								3						
								4						
								5						
11	近代発明家列伝	橋本毅彦	岩波書店	2013	教授	佐々 修一	日々の生活に関係する発明に関して、面白いエピソードとともに紹介している。航空宇宙に関しては、ライト兄弟・フロンティアが取り上げられている。	1						
								2						
								3						
								4						
								5						
12	飛行機の誕生と空気力学の形成	橋本毅彦	東京大学出版会		教授	佐々 修一	飛行機の誕生に先立ち、空気力学の研究の歴史がどのように進んできたかを、各種資料に基づきに解説している。またイギリスの国立研究所での航空機力学の研究についても紹介し、国の果たした役割についても詳細に分析している。	1						
								2						
								3						
								4						
								5						

13	航空機の飛行力学と制御	片柳 亮二	森北出版	2007	助手	増田 開	近年、無人航空機に関する研究が活発に行われているが、そのような飛行機の自動「制御」には、飛行機の力学を十分に理解している必要がある。本書は、飛行機の運動方程式等の導出過程が丁寧に記述されており、飛行機の力学を初めて学ぶ者にとって、とてもわかりやすくまとめられている。無人航空機の研究に興味がある方には、一度は読んでおきたい一冊と思います。	1	航空力学の基礎 第3版	牧野光雄	産業図書	2012	
								2	航空機力学入門	加藤寛一郎	東京大学出版会	1982	
								3	飛行力学	嶋田有三 佐々修一	森北出版	2017	
								4					
								5					
14	制御工学の考え方	木村秀紀	講談社	4-06-257396-2	教授	内山賢治	「制御」は機械に必要な不可欠な技術であり、実際、制御工学に関する書籍はたくさんあるが、それらは全て理論が先行し、とっつきにくいものが多い。本書は制御の歴史だけでなく、ハードディスクから航空機まで様々な具体例を通して、「制御の本質とは何か」、を分かり易く説明した制御工学の入門書である。また、機械を中心に実装されてきた「制御」が、経済や環境問題、人間などへの広がりについて言及しているのも興味深い。	1					
								2					
								3					
								4					
								5					
15	マッハ力学	Ernst Mach 著 伏見譲 訳	講談社	1969	教授	内山賢治	テコの原理から解析力学まで、様々な力学法則について、その持つ意味を明確にすることを目的とした内容となっている。ニュートンを始め、力学の発展に携わった人物の背景を含め、どのように力学が体系化されていく過程も書かれている。一通り力学を学んだ後に本書を読むと、力学に関する原理原則について、より深く理解することができる。	1					
								2					
								3					
								4					
								5					
16	ファインマン物理学 I 力学	R. P. Feynman 著 坪井忠二 訳	岩波新書	1986	教授	内山賢治	ノーベル物理学賞を受賞した著者が、大学で講義した内容をまとめた内容となっている。力学法則だけでなく、エネルギーなどの物理量の本質について詳しく説明している。特殊相対性理論についても分かり易く言及しており、大学の授業だけでは物足りない学生は、是非、一読してほしい。	1	ご冗談でしょう、ファインマンさん上	R. P. Feynman 著、大貫昌子訳	岩波現代文庫	2000	ファインマンという人物を知ってから、「ファインマン物理学 I 力学」を手に取ると、また少し違った視点で読むことができる。
								2	ご冗談でしょう、ファインマンさん下	R. P. Feynman 著、大貫昌子訳	岩波現代文庫	2000	
								3					
								4					
								5					

17	Space Vehicle Dynamics and Control 2nd Edition	Bong Bie 著	AIAA	978-1-56347-953-3	教授	内山賢治	航空宇宙工学科で制御工学を研究する学生に、是非、読んでもらいたい内容となっている。制御工学の基礎から、宇宙機の制御を中心に、様々な制御理論について分かり易く解説している。軌道力学についても詳しく説明しており、宇宙工学を通して制御技術を磨くのに適している。	1						
								2						
								3						
								4						
								5						
18	Rocket Propulsion Elements	G. P. Sutton, O. Biblarz	John Wiley & Sons, Inc.	2010	教授	田辺 光昭	ロケットエンジン全般について、わかりやすく書かれた、ロケット工学の入門書である。ロケットエンジンの発展の歴史が解説され、最新のロケットエンジンに至るまで丁寧に解説されている。具体的な事例も多く掲載されている良書である。	1	工業熱力学 基礎編	河野 通方 他	東京大学出版会	2011	熱力学および燃焼学を学ぶ上での入門書である。	
					准教授	高橋 賢一		2	トコトンやさしい 熱力学の本	久保田 浪之介	日刊工業新聞社	2010		
					助教	齊藤 允教		3	トコトンやさしい 燃焼学の本	久保田 浪之介	日刊工業新聞社	2012		
								4						
								5						
19	ロケットエンジン概論	桑原 卓雄	産業図書	2009	教授	田辺 光昭	ロケットエンジンの基礎について、わかりやすく書かれた入門書である。著者は長くロケットエンジンの研究開発に携わり、その経験を活かし、初学者が理解しやすい内容としている。様々なロケットエンジンについて具体例とともに解説されている良書である。	1	工業熱力学 基礎編	河野 通方 他	東京大学出版会	2011	熱力学および燃焼学を学ぶ上での入門書である。	
					准教授	高橋 賢一		2	トコトンやさしい 熱力学の本	久保田 浪之介	日刊工業新聞社	2010		
					助教	齊藤 允教		3	トコトンやさしい 燃焼学の本	久保田 浪之介	日刊工業新聞社	2012		
								4						
								5						
20	火薬学の基礎	久保田 浪之介	日刊工業新聞社	2013	教授	田辺 光昭	固体ロケットの推進薬の材料となる高エネルギー物質についてわかりやすく解説している。また、固体ロケットの推進薬は火薬類になり、その材料の製造から燃焼機構までを解説している。著者は長く推進薬の研究開発に携わり、その経験のもとで書かれた良書である。	1	工業熱力学 基礎編	河野 通方 他	東京大学出版会	2011	熱力学および燃焼学を学ぶ上での入門書である。	
					准教授	高橋 賢一		2	トコトンやさしい 熱力学の本	久保田 浪之介	日刊工業新聞社	2010		
					助教	齊藤 允教		3	トコトンやさしい 燃焼学の本	久保田 浪之介	日刊工業新聞社	2012		
								4						
								5						

21	ザ・ジェット・エンジン	Rolls-Royce plc 監修	日本航空技 術協会	2011	教授	田辺 光昭	本図書は、ジェットエンジンについて絵 図を用いて分かりやすく解説されてお り、基礎から技術的な課題まで幅広く 取り扱われている。そのため、ジェット エンジンについて学ぶ入口の図書とし て最適であり、本選書基準にふさわし い図書である。	1	ガスタービンエンジン	谷田好道ほか	朝倉書店	2000	ジェットエンジンの 構造や仕組みを 学ぶ上での入門 書である。
					准教授	高橋 賢一		2	航空工学講座第7巻 タービン エンジン	日本航空技術協 会	日本航空技 術協会	2008	
					助教	齊藤 允教		3	ジェットエンジン概論	J. L. ケルブロック	東京大学出 版会	1993	
								4					
								5					
22	図解 自動車エンジンの技術	畑村耕一ほか	ナツメ社	2016	教授	田辺 光昭	本図書は、自動車用エンジンの仕組み から最新技術に亘り、絵図を用いて分 かりやすく解説されているため、入門 図書として適している。また、自動車用 エンジンは、機械系の学科では広く取 り扱っており、他の学問分野とのつな がりも考えるきっかけとなり、本選書基 準にふさわしい図書である。	1	最新！自動車エンジン技術が わかる本	畑村耕一	ナツメ社	2009	
					准教授	高橋 賢一		2	最新内燃機関	河野通方 他	朝倉書店	1995	
					助教	齊藤 允教		3	動力発生学	小口幸成 他	朝倉書店	2013	
								4					
								5					
23	解析力学Ⅰ	山本義隆、中 村孔一	朝倉書店	ISBN4- 254- 13671-4	教授	宮崎 康行	微分幾何学をベースに、数学的な曖昧 さなく解析力学を理解するための本と しては、日本語ではこれしかない、と言 い切れるくらい、順序立ててきちんと書 かれています。自分は、学生時代、解 析力学を適当にしか勉強していません でしたが、この本(と、下巻にあたる「解 析力学Ⅱ」)を読んで、解析力学をそれ なりにきちんと理解することができるよ うになったと思います。本気で解析力 学を勉強したい人にお勧めです。	1					
								2					
								3					
								4					
								5					
24	解析力学Ⅱ	山本義隆、中 村孔一	朝倉書店	ISBN4- 254- 13672-2	教授	宮崎 康行	微分幾何学をベースに、数学的な曖昧 さなく解析力学を理解するための本と しては、日本語ではこれしかない、と言 い切れるくらい、順序立ててきちんと書 かれています。自分は、学生時代、解 析力学を適当にしか勉強していません でしたが、この本(と、上巻にあたる「解 析力学Ⅰ」)を読んで、解析力学をそれ なりにきちんと理解することができるよ うになったと思います。本気で解析力 学を勉強したい人にお勧めです。	1					
								2					
								3					
								4					
								5					

25	Introduction to Mechanics and Symmetry	Jerrold E. Marsden, Tudor S. Ratiu	Springer	ISBN 978-0-387-98643-X	教授	宮崎 康行	解析力学の世界的大家で、Geometric Mechanics, Geometric Controlの分野を切り開き、2010年に惜しまれながら亡くなった、CalTechの故Marsden教授の名著。微分幾何学に基づいて解析力学を記述し、解析力学の数学的構造を明らかにした教科書で、「Introduction」とありますが、かなり骨のある、充実した本です。この本の主張するところを、数学的にはもちろん、力学的におきちんと理解できれば、力学の見え方が変わるでしょう。単純に数学が好きな人にもお勧めです。解析力学の最先端を勉強したい人(特に、大学院生)にとって、いい入門書になると思います。	1					
								2					
								3					
								4					
								5					
26	Geometric Control of Mechanical Systems	Francesco Bullo, Andrew D. Lewis	Springer	ISBN 978-0-387-22195-3	教授	宮崎 康行	著者は、当時、解析力学の世界的大家であった、CalTechの故Marsden教授の研究グループのメンバーで、Geometric Mechanicsを制御に適用する方法を記述した教科書。具体的な制御則について記述したものではないですが、ノンホロノミック系の制御など、力学系の制御の基本的な考え方が示してある。微分幾何学をベースにしているので、それなりに数学の知識が必要ですが、数学が好きな人にはお勧めです。補足資料をネットでダウンロードできます。	1					
								2					
								3					
								4					
								5					
27	人工衛星をつくるー設計から打ち上げまでー	宮崎 康行	オーム社	978-4274503719	助教	山崎 政彦		1					
							超小型衛星開発の全体像を学べる一冊です。実際の超小型人工衛星開発を例に、組立・統合・テストから打ち上げ、運用までに、何が必要か、何を考えたとよいかを学ぶことができます。超小型衛星に興味がある人、システム開発に興味がある人におすすめです。	2					
								3					
								4					
								5					
28	CanSatー超小型模擬人工衛星ー	大学宇宙工学コンソーシアム	オーム社	978-4274505003	助教	山崎 政彦	空き缶を使った超小型模擬人工衛星「CanSat(缶サット)」に関する入門書です。限られた空間・リソースの中で如何にしてシステムを構成するか、超小型衛星に通ずるシステムの開発方法が学べます。本書は設計から組み立て、試験前検証、実際の実験など開発で必要となる技術を詳細・具体例を通して学ぶことができます。	1					
								2					
								3					
								4					
								5					

29	Visualizing project management:Models and Frameworks for Mastering Complex Systems, 3rd Edition	Kevin Forsberg, Hal Mooz, Howard Cotterman	Wiley	978-0-471-64848-2	助教	山崎 政彦	本書ではシステムエンジニアリングにおける様々なモデルを解説しています。システムエンジニアリングは物事をうまく進めるための考え方を追求する学問です。当たり前とも思えるようなプロジェクトの進め方や、物事の考え方、モノの作り方、人間のコミュニケーションの仕方を可視化・モデル化し、説明しようとするので、そこから新たな示唆を得て、また、見通しの良い物事の進め方が得られる1冊かと思います。	1						
								2						
								3						
								4						
								5						
30	これなら分かる応用数学教室	金谷健一	共立出版	2003	准教授	安部 明雄	理工系で必須となる信号・画像・データ処理に必要な数学を、最小2乗法から始まり、直交関数展開、フーリエ解析、固有値問題、ウェーブレット解析まで、ひとつのストーリーでわかりやすくまとめられている。これらの内容が一つの本にまとめられているのは珍しい。	1	高専学生のためのデジタル信号処理	酒井 幸市	コロナ社	1996		
								2	信号・システム理論の基礎	足立 修一	コロナ社	2014		
								3	わかる制御工学入門	嶋田 有三	産業図書	2004		
								4	線形代数学	川久保 勝夫	日本評論社	1999		
								5						
31	今日から使える複素関数	飽本 一裕	講談社	2008	准教授	安部 明雄	わかりやすい本を著される飽本先生の著書の中でも、秀逸な本。初学者には無味乾燥に見えがちな複素解析学の世界を生き生きと明快に記述している。専門分野で複素関数の復習を迫られたとき、手に取ってみたいはかがでしようか。	1	基礎流体力学	基礎流体力学編集委員会	産業図書	1989		
								2	わかる制御工学入門	嶋田 有三	産業図書	2004		
								3	複素関数論	有馬朗人・神部勉	共立出版	1991		
								4						
								5						
32	線形代数学	川久保勝夫	日本評論社	1999	准教授	安部 明雄	多種多様ある線形代数学の本でも、読者の思考パターンに合わせつつ、抽象的な事柄も丁寧な説明と図示によって記述している。各事柄が、数ページ読むと理解できるように記述されており、用語を調べる際にも便利である。	1	新線形代数	高遠 節夫	大日本図書	2012		
								2	航空機力学入門	加藤 寛一郎他	東京大学出版	1982		
								3	わかりやすい現代制御理論	森 泰親	森北出版	2013		
								4						
								5						

33	わかりやすい現代制御理論	森 泰親	森北出版	2013	准教授	安部 明雄	現代制御理論の入門書として評判の同著者の「演習で学ぶ現代制御理論」で、解説部分のボリュームを増やした著書。どちらも現代制御理論の入門書として適切である。	1	演習で学ぶ現代制御理論	森 泰親	森北出版	2014	
								2	線形代数学	川久保 勝夫	日本評論社	1999	
								3	複素関数論	有馬朗人・神部勉	共立出版	1991	
								4	わかる制御工学入門	嶋田 有三	産業図書	2004	
								5					
34	MATLABによる制御系設計	野波健蔵 他	東京電機大学出版局	1998	准教授	安部 明雄	1970年代後半に端を発する制御工学第3世代の各種制御理論の内容が、ロバスト制御を中心に簡潔に述べられている。各手法を一から勉強するには、時間も労力もかかるが、本書を読むことで短時間で概要をおさえることができる。MATLABのシミュレーションプログラムも付属されており、実際の制御系設計の際にも参考になる。	1	ロバスト最適制御	劉 康志, 羅 正華	コロナ社	1997	
								2	H ∞ 制御	美多 勉	昭晃堂	1994	
								3	わかりやすい現代制御理論	森 泰親	森北出版	2013	
								4	線形代数学	川久保 勝夫	日本評論社	1999	
								5					
35	衝突天体の気体力学—流星はなぜ光るのか?	ウラジミール・P. ストゥーロフ (著), A.I. ピースルイ (著), V.N. ミルスキー (著), 奥石 肇 (翻訳), 久保田 弘敏 (翻訳)	東海大学出版会	ISBN978-4-486-01520-8(4-486-01520-7)	准教授	阿部 新助	高速空気力学や圧縮性流体力学を用いることで、ロケットや再突カプセルなどの高速の宇宙飛翔体に生じる熱気体力学現象や空力加熱を理解することができる。本書では、超高速で地球大気に突入して発光する「流星現象」に着目し、大気再突入の物理・化学を応用して、流星発光の本質について取り上げている。本研究分野では長い歴史を誇るロシアの原著と参照論文を網羅している点も大変貴重である。	1	宇宙飛行体の熱気体力学	久保田弘敏, 鈴木宏二郎, 綿貫忠晴	東京大学出版	ISBN978-4-13-061156-5	
								2					
								3					
								4					
								5					
36	天体の位置計算 増補版	長沢工	地人書館	1985	准教授	阿部 新助	天体の位置計算を行う上での基礎的な計算を例題を示しながら分かりやすく示している。特に、時刻系、地平座標系・黄道座標系・赤道座標系の変換、歳差・章動や春分点について分かり易く解説しており、天体力学の和書では、初学者の誰もが参照する代表的な教科書である。本書を参照すれば、球面三角関数やニュートン法を用いた数値計算から、ケプラー軌道から位置計算ができるようになる。	1	日の出・日の入りの計算—天体の出没時刻の求め方	長沢工	地人書館	1999	
								2	日食計算の基礎—日食図はどのようにして描くか	長沢工	地人書館	2011	
								3	天文計算入門—球面三角から軌道計算まで	長谷川一郎	恒星社	1997	
								4					
								5					

37	新版 金属工学入門	西川 精一	アグネ技術センター	2001	教授	出井 裕	金属材料全般(鉄鋼材料・非鉄金属・貴金属・希土類金属などの性質を分りやすく解説している。また、それぞれの金属の歴史や精錬法などの記述もある。材料特性と材料工学の基礎などの技術者として必要な知識を身に着けることができる。	1						
								2						
								3						
								4						
								5						
38	Materials Science and Engineering an Introduction	William D. Callister	Willy	2013	教授	出井 裕	材料工学の教科書として、米国の多くの大学で採用されている名著である。数年ごとの改訂され、内容が充実している。	1						
								2						
								3						
								4						
								5						
39	Introduction to CompositeMaterials	Stephen W.Tasi and H.Thomas Hahn	Technomic	1980	教授	出井 裕	複合材の力学を解説した名著である。著者の一人であるTsaiはこの分野の第一人者で、種々の理論を提案している。積層理論が丁寧に分りやすく解説されている。	1						
								2						
								3						
								4						
								5						
40	太陽・惑星系と地球 現代地球科学入門シリーズ 全16巻【1】巻	大谷 栄治・長谷川 昭・花輪公雄編集・佐々木 晶・土山 明・笠羽 康正・大竹 真紀子	共立出版	2019	准教授	阿部 新助	近年の観測・探査技術の向上や大規模シミュレーションにより大きく描像を変化させた太陽系惑星科学について、太陽系の起源から地球型惑星、月・衛星、彗星・小惑星、そして、生命存在環境までを詳しく網羅した学部生～修士課程院生を対象とした教科書。最新のトピックや専門的知識は、コラムとしても解説。この分野を和書として学ぶには、最も適した教科書と言える。	1						
								2						
								3						
								4						
								5						